



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ノザワ

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4112

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,975	△20.2	△51	—	△92	—	△138	—
22年3月期第2四半期	8,737	6.3	295	—	238	—	308	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△5.93	—
22年3月期第2四半期	13.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第2四半期	20,301		7,813		38.5	334.78
22年3月期	21,191		8,019		37.8	343.59

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,813百万円 22年3月期 8,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	2.00	2.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	△9.8	220	△46.4	150	△47.0	60	△74.1	2.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 24,150,000株 22年3月期 24,150,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 810,911株 22年3月期 809,036株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 23,339,894株 22年3月期2Q 23,342,121株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出産業など一部で緩やかな回復の兆しがみられたものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費も低迷が続き、先行き不透明な状況で推移致しました。建築材料業界におきましても、公共事業の大幅削減、建築着工の長期低迷、競争の激化などにより引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社が開発した押出成形セメント板「アスロック」は今年、発売40周年を迎えます。これを記念し、「アスロック」のさらなる可能性を広げるため、斬新なパネルのデザインを自由に提案頂く「アスロック フリーデザインパネルキャンペーン」を展開しております。また、商品群及び新工法の充実を図るべく、高層建築市場向けに、押出成形セメント板カーテンウォール「アルカス」（新押出成形セメント板 外壁等圧目地無足場工法）を発売、第1号物件として施工された高さ120mの超高層ビルは施工性・性能・意匠等好評価を頂き、現在第2号物件として来年施工予定の100m級超高層ビルを受注する等、積極的な営業展開を行いました。また、押出成形セメント板「アスロック」と太陽電池を一体化した外壁システム「アスロックソーラーウォール」（特許出願中）を発売しました。建築外装に要求される各種の性能を満足しつつ、太陽光発電システムとの融合を図り、中高層ビルなど屋上の設置スペースが小さい建物でも太陽光発電が可能となり、既に第1号物件は施工中であります。

生産部門では、内製化を推進し外注費を削減。生産数量の増減に対応した柔軟かつ機動性のある運転体制を行いました。また、埼玉工場のライン改造を実施し、新押出技術の開発を進め更なる品質向上を図りました。海外事業では、営業人員を増員し営業強化致しました。管理部門では、IT活用による効率アップ等コストダウンに取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、69億75百万円（前年同期比20.2%減少）となりました。当社グループの単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別の売上高については、押出成形セメント製品では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は40億97百万円（前年同期比17.9%減少）、住宅用軽量外壁材は6億73百万円（前年同期比17.8%減少）、スレート関連は5億80百万円（前年同期比2.5%増加）、耐火被覆工事は5億2百万円（前年同期比37.3%減少）、石綿除去工事は2億29百万円（前年同期比31.6%減少）となりました。

利益面については、生産性向上や外注費削減などによる製造原価低減等コストダウンに努めたものの、競争激化による販売価格の下落等により営業損失51百万円（前年同四半期は2億95百万円の営業利益）、経常損失92百万円（前年同四半期は2億38百万円の経常利益）。四半期純損失については、有価証券評価損42百万円等を計上した結果、1億38百万円（前年同四半期は3億8百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が4億59百万円減少、受取手形及び売掛金が27百万円減少、未成工事支出金が41百万円減少したこと等により66億7百万円（前連結会計年度末と比較して7億40百万円減少）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ、投資有価証券が72百万円減少、有形固定資産が89百万円減少したこと等から、136億92百万円（前連結会計年度末と比較して1億49百万円減少）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億90百万円減少し203億1百万円となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が2億15百万円減少、短期借入金のうち1年内返済予定の長期借入金が10億20百万円減少したこと等から、48億95百万円（前連結会計年度末と比較して12億63百万円減少）となりました。固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ長期借入金が短期借入金よりの振替を含め5億26百万円増加したこと等から、75億92百万円（前連結会計年度末と比較して5億80百万円増加）となりました。この結果、負債の

合計額は、前連結会計年度末に比べ6億83百万円減少し124億87百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、その他有価証券評価差額金及び利益剰余金が減少したこと等から、78億13百万円(前連結会計年度末と比較して2億6百万円減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、企業収益の改善により持ち直しはみられるものの、急激な円高の進行、株価下落及び資源高騰への懸念、公共投資の削減等により予断を許さない状況が引続き続くものと思われまます。また、建築材料業界では、設備投資、住宅市場とも低水準が長期化しており、公共事業の大幅削減から今後もさらに厳しい状況で推移することが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ニーズを先取りした新商品・新工法開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組んでまいります。

建材事業につきましては、押出成形セメント板「アスロック」の外壁高性能2次防水工法「セフティシール工法」に、高い止水性を発揮する特殊水膨張ウレタンフォームを押出成形セメント板のシール材として初めて採用し、大幅なコスト削減を実現した「セフティシール工法 タイプM」を開発。また、押出成形セメント板「アスロック900」に新デザインパネル「シェイドロック」と従来のデザインパネルのワイドモジュール版を同時発売。いずれもモジュールを600幅から900幅へ広げたことにより建物の外観をダイナミックに見せることを可能としました。「シェイドロック」は、表面の特殊形状(意匠登録出願中)により、射光時に凹凸の陰影が壁面全体を立体的・幻想的に表現することができるデザインパネルとして、拡販に努めてまいります。また、農業分野では環境保全型農業に応える資材として、ケイ酸と苦土を主成分とする肥料「マインマグ」の販路拡大を図ります。海外事業につきましては、海外市場に適応した商品・工法の開発を行うと共に、増員効果による拡販に努めてまいります。

生産面においては、NNPSによる品質の向上と納期の短縮、需要動向に即応した生産体制により収益向上を図り、管理面では、トータルコストダウンを更に推進するとともに、有利子負債の圧縮により財務体質を改善し経営基盤を強化します。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高147億円、営業利益2億20百万円、経常利益1億50百万円、当期純利益60百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ699千円増加し、税金等調整前四半期純損失が9,626千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,272,682	2,732,386
受取手形及び売掛金	3,326,956	3,354,039
商品及び製品	250,062	265,419
原材料及び貯蔵品	68,041	75,925
未成工事支出金	256,555	298,099
その他	450,782	647,234
貸倒引当金	△17,319	△24,828
流動資産合計	6,607,761	7,348,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,625,938	2,688,938
機械装置及び運搬具(純額)	974,803	1,005,940
土地	7,284,080	7,284,080
建設仮勘定	39,955	20,593
その他(純額)	185,974	200,932
有形固定資産合計	11,110,753	11,200,484
無形固定資産		
投資その他の資産	15,501	15,909
投資有価証券	1,350,236	1,422,840
その他	1,262,078	1,294,928
貸倒引当金	△45,920	△91,933
投資その他の資産合計	2,566,394	2,625,835
固定資産合計	13,692,649	13,842,230
繰延資産	694	867
資産合計	20,301,105	21,191,374

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,040,798	2,056,849
短期借入金	1,828,000	2,848,000
未払法人税等	17,636	233,014
賞与引当金	162,500	179,150
その他	846,660	842,546
流動負債合計	4,895,595	6,159,560
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	3,411,000	2,885,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,275,958	1,223,930
資産除去債務	12,983	—
その他	594,311	595,222
固定負債合計	7,592,103	7,012,002
負債合計	12,487,699	13,171,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	821,418	1,006,394
自己株式	△46,556	△46,299
株主資本合計	4,694,434	4,879,666
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,426	△253
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
評価・換算差額等合計	3,118,971	3,140,145
純資産合計	7,813,406	8,019,811
負債純資産合計	20,301,105	21,191,374

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,737,362	6,975,751
売上原価	6,469,547	5,105,617
売上総利益	2,267,815	1,870,133
販売費及び一般管理費	1,972,631	1,921,597
営業利益又は営業損失(△)	295,184	△51,464
営業外収益		
受取利息	492	1,827
受取配当金	21,756	21,315
その他	21,949	23,004
営業外収益合計	44,198	46,147
営業外費用		
支払利息	48,077	49,313
支払手数料	21,502	17,109
その他	31,387	20,775
営業外費用合計	100,967	87,199
経常利益又は経常損失(△)	238,415	△92,515
特別利益		
固定資産売却益	222,133	—
貸倒引当金戻入額	—	9,835
特別利益合計	222,133	9,835
特別損失		
固定資産除却損	1,040	1,109
投資有価証券評価損	—	42,764
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,927
特別損失合計	1,040	52,801
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	459,508	△135,482
法人税、住民税及び事業税	188,965	13,875
法人税等調整額	△37,570	△11,064
法人税等合計	151,394	2,811
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△138,293
四半期純利益又は四半期純損失(△)	308,114	△138,293

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,938,740	3,685,604
売上原価	3,737,003	2,713,436
売上総利益	1,201,737	972,167
販売費及び一般管理費	1,000,300	1,007,377
営業利益又は営業損失(△)	201,436	△35,210
営業外収益		
受取利息	299	1,523
受取配当金	2,561	3,364
受取保険金	3,412	4,779
その他	10,321	10,591
営業外収益合計	16,594	20,258
営業外費用		
支払利息	23,724	24,869
支払手数料	11,262	8,346
その他	14,378	11,537
営業外費用合計	49,365	44,753
経常利益又は経常損失(△)	168,666	△59,705
特別利益		
固定資産売却益	222,133	—
貸倒引当金戻入額	—	1,417
特別利益合計	222,133	1,417
特別損失		
固定資産除却損	1,040	130
投資有価証券評価損	—	26,069
特別損失合計	1,040	26,200
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	389,759	△84,488
法人税、住民税及び事業税	172,933	3,067
法人税等調整額	△60,227	△8,483
法人税等合計	112,705	△5,415
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△79,072
四半期純利益又は四半期純損失(△)	277,053	△79,072

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	459,508	△135,482
減価償却費	273,220	247,677
社債発行費償却	173	173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,331	△53,521
退職給付引当金の増減額(△は減少)	82,795	52,028
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,206	△16,650
受取利息及び受取配当金	△22,249	△23,143
支払利息	48,077	49,313
固定資産売却益	△222,133	—
固定資産除却損	1,040	1,109
投資有価証券評価損益(△は益)	—	42,764
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,927
売上債権の増減額(△は増加)	△120,319	281,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	283,628	64,784
仕入債務の増減額(△は減少)	△432,212	48,199
その他	△24,149	△117,313
小計	345,917	450,174
利息及び配当金の受取額	22,249	23,143
利息の支払額	△50,171	△50,064
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	25,545	△226,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,540	196,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,386	△78,960
有形固定資産の売却による収入	222,133	—
投資有価証券の取得による支出	△5,382	△5,999
その他	△5,046	△12,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,318	△97,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△1,035,000	△200,000
長期借入れによる収入	760,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△481,500	△1,894,000
社債の償還による支出	△78,000	△10,000
親会社による配当金の支払額	△46,774	△47,162
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,111	△7,111
その他	△244	△256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,629	△558,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	368,228	△459,703
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,620	2,732,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,855,849	2,272,682

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める建築材料関連事業の割合が90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当社グループは、建築材料関連事業の単一の報告セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。

なお、その他の事業の生産はありません。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	増減
押出成形セメント製品	3,245,879 千円	2,911,289 千円	△334,589 千円
スレート関連	320,806	301,843	△18,962
その他	20,320	34,444	14,124
合計	3,587,006	3,247,577	△339,428

(注) 1 金額は製造価格によります。

2 上記の金額には消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。

なお、製商品については受注生産によらず、主として見込み生産を行っております。

なお、その他の事業の受注はありません。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品等工事	405,291	531,061	460,097	491,303	54,805	△39,758
スレート工事	48,566	29,740	110,037	33,540	61,471	3,800
耐火被覆工事	908,588	597,556	526,611	476,313	△381,976	△121,242
石綿除去工事	362,946	143,054	346,665	158,500	△16,281	15,445
その他工事	408,654	399,308	371,698	375,775	△36,956	△23,532
合計	2,134,048	1,700,720	1,815,110	1,535,432	△318,938	△165,288

(注) 上記の金額には消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別 区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	増減
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連等	5,810,547	4,771,084	△1,039,462
スレート関連等	566,248	580,220	13,972
耐火被覆	801,231	502,151	△299,080
石綿除去	335,042	229,243	△105,799
その他	1,198,323	871,115	△327,208
計	8,711,392	6,953,814	△1,757,578

建築材料関連事業以外の事業の販売実績は当第2四半期連結累計期間21,936千円であり、前年同四半期比△4,033千円となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		増 減
	金 額	割合	金 額	割合	金 額
積水ハウス㈱	1,072,071 千円	12.3 %	904,932 千円	13.0 %	△167,139 千円
伊藤忠建材㈱	910,173	10.4	900,702	12.9	△9,470

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は上記のとおりです。

2 上記の金額には消費税等は含まれていません。